



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月13日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 ゴルフ・ドウ

コード番号 3032 URL <http://www.golfdou.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊東 龍也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長

(氏名) 大井 康生

TEL 048-851-3111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,205	21.5	43	143.5	43	145.3	32	136.8
24年3月期第1四半期	992	16.7	18	12.5	17	30.8	13	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 27百万円 (133.8%) 24年3月期第1四半期 11百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	2,642.26	—
24年3月期第1四半期	1,118.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	2,137	511	23.9	41,245.63
24年3月期	1,970	483	24.5	39,000.64

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 511百万円 24年3月期 483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,200	9.6	90	21.6	85	16.4	65	6.6	5,240.24
通期	4,400	8.8	150	9.5	140	7.7	110	6.8	8,868.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

(注)詳細は、【添付資料】の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	13,113 株	24年3月期	13,113 株
25年3月期1Q	709 株	24年3月期	709 株
25年3月期1Q	12,404 株	24年3月期1Q	12,374 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1)連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要など国内需要が堅調に推移するなど、緩やかに持ち直しつつあるものの円高や欧州財政危機等の影響が懸念され、企業活動の低迷や消費マインドの悪化等、足元の景況感としては不透明な状況が続いております。

ゴルフ業界におきましては、昨年の震災の影響による自粛ムードからの反動からか、消費者の購買意欲は回復に向かい、プレー人口においても、ゴルフ場／練習場の利用者数が平成24年6月には前年同月比106.0%/101.0%と回復傾向で推移しております（経済産業省「特定サービス産業動態調査」）。

このような経営環境のもと、当社グループでは前期から引き続き、事業全体の収益性向上を目指し、業務の効率化や在庫の適正化等による粗利益率の改善及び経費削減に努めてまいりました結果、売上高、経常利益が堅調に推移いたしました。また、店舗につきましては、直営事業、フランチャイズ事業ともに新規出店はありません。フランチャイズ事業において平成24年4月末に1店舗の閉店があり、その結果、平成24年6月末日現在の営業店舗数は全国で合計72店舗となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高12億5百万円、営業利益が43百万円、四半期純利益32百万円となりました。

ゴルフ・ドゥ！店舗月次データ（売上高前年比）は以下のとおりであります

月	H24年 4月	H24年 5月	H24年 6月	第1四半期合計
チェーン全店	109.1%	99.5%	103.6%	103.9%
チェーン既存店	110.5%	101.3%	105.1%	105.5%
直営全店	128.1%	103.3%	109.5%	112.7%
直営既存店	128.1%	103.3%	109.5%	112.7%
F C全店	102.4%	97.9%	101.1%	100.4%
F C既存店	104.1%	100.5%	103.1%	102.5%

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(直営事業)

当第1四半期連結累計期間においては、昨年の震災によるゴルフプレー自体の自粛ムードから一転、購買意欲も回復傾向に向かい、平成24年4月度の売上高前年比が128.1%となりました。さらに顧客獲得のための弊社独自の接客向上策を推進してまいりましたことにより、新規顧客はもとよりリピーター顧客も増加、前年より購入顧客数が増えたことにより、当第1四半期の売上高前年比は113.3%となりました。

その結果、直営事業の売上高は6億85百万円（前年同四半期売上高6億5百万円）となりました。また、セグメント利益は56百万円（前年同四半期セグメント利益31百万円）となりました。

(フランチャイズ事業)

当第1四半期連結累計期間においては、当初想定した予算のとおりには加盟店の売上高が達成できず、計画とおりのロイヤリティ収入が確保できませんでした。また、4月末日には小規模な店舗であります松阪店（三重県）の1店舗が閉店いたしました。

その結果、フランチャイズ事業の売上高は97百万円（前年同四半期売上高1億15百万円）となりました。また、セグメント利益は39百万円（前年同四半期セグメント利益43百万円）となりました。

(営業販売事業)

当第1四半期連結累計期間においては、昨年の震災の影響による自粛ムードから一転、大型店から小型専門店、ネット事業者に至るまで販売意欲が回復傾向となり、受注が増えました。また一部の人気ブランドの新商品も売上に寄与し、売上高は堅調に推移しました。

その結果、営業販売事業の売上高は4億22百万円（前年同四半期売上高2億71百万円）となりました。また、セグメント利益は5百万円（前年同四半期セグメント損失3百万）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

◆資産、負債、純資産及の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は21億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億66百万円増加いたしました。

流動資産は、14億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億87百万円の増加となりました。これは主に現預金が1億71百万円、売掛金が44百万円、増加したことによるものです。

固定資産は、6億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少しました。これは主に減価償却によるものです。

(負債)

流動負債は、9億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円増加しました。これは主に短期借入金が59百万円増加したことによるものです。

固定負債は、6億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ73百万円の増加しました。これは主に長期借入金が68百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益32百万円及び評価換算差額によるものです。

この結果、自己資本比率は23.9%（前連結会計年度末は24.5%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	221,127	392,631
受取手形及び売掛金	227,389	272,212
商品	775,866	749,251
繰延税金資産	54,710	52,472
その他	32,678	32,595
貸倒引当金	△3,717	△3,644
流動資産合計	1,308,055	1,495,519
固定資産		
有形固定資産	203,022	196,566
無形固定資産		
のれん	56,799	52,429
その他	35,884	34,660
無形固定資産合計	92,683	87,090
投資その他の資産		
その他	383,344	374,838
貸倒引当金	△16,124	△16,124
投資その他の資産合計	367,220	358,713
固定資産合計	662,926	642,371
資産合計	1,970,981	2,137,890
負債の部		
流動負債		
買掛金	249,975	253,657
短期借入金	230,000	289,194
1年内返済予定の長期借入金	223,958	244,875
未払法人税等	12,063	6,672
賞与引当金	18,742	14,385
ポイント引当金	21,037	19,575
その他	125,895	118,801
流動負債合計	881,671	947,162
固定負債		
長期借入金	447,530	516,265
退職給付引当金	77,084	83,779
資産除去債務	27,424	27,566
その他	53,506	51,506
固定負債合計	605,546	679,117
負債合計	1,487,217	1,626,280

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	501, 320	501, 320
資本剰余金	178, 372	178, 372
利益剰余金	△165, 246	△132, 471
自己株式	△23, 625	△23, 625
株主資本合計	490, 821	523, 596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△829	△1, 895
為替換算調整勘定	△6, 228	△10, 090
その他の包括利益累計額合計	△7, 057	△11, 985
純資産合計	483, 763	511, 610
負債純資産合計	1, 970, 981	2, 137, 890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	992,208	1,205,150
売上原価	650,517	826,999
売上総利益	341,691	378,150
販売費及び一般管理費	323,624	334,155
営業利益	18,066	43,995
営業外収益		
受取利息	868	814
受取手数料	633	660
為替差益	1,837	1,146
その他	990	767
営業外収益合計	4,329	3,389
営業外費用		
支払利息	4,478	3,481
その他	99	197
営業外費用合計	4,578	3,679
経常利益	17,817	43,705
税金等調整前四半期純利益	17,817	43,705
法人税、住民税及び事業税	5,349	8,760
法人税等調整額	△1,375	2,169
法人税等	3,974	10,930
少数株主損益調整前四半期純利益	13,843	32,774
四半期純利益	13,843	32,774

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,843	32,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	823	△1,065
為替換算調整勘定	△2,756	△3,862
その他の包括利益合計	△1,933	△4,927
四半期包括利益	11,910	27,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,910	27,846

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	直営	フランチャイズ	営業販売	合計
売上高				
外部顧客への売上高	605,219	115,338	271,650	992,208
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	605,219	115,338	271,650	992,208
セグメント利益又は 損失(△)	31,740	43,967	△3,493	72,214

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	72,214
のれんの償却額	△4,369
全社費用(注)	△49,779
四半期連結損益計算書の営業利益	18,066

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	直営	フランチャイズ	営業販売	合計
売上高				
外部顧客への売上高	685,570	97,454	422,125	1,205,150
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	685,570	97,454	422,125	1,205,150
セグメント利益	56,122	39,503	5,626	101,252

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	101,252
のれんの償却額	△4,369
全社費用（注）	△52,887
四半期連結損益計算書の営業利益	43,995

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。